

質 問 回 答 書

入札番号：総病新第 57 号

工 事 名：平成 27 年度静岡県立総合病院 先端医学棟建築工事

NO	質問事項	質問内容	回 答
1	共通 式典について	式典について、起工式は施工者負担、竣工式は施主負担と考えて宜しいですか。また、その場合の起工式における施主・設計事務所の出席予定人数を御指示下さい。	起工式（安全祈願祭）は、受注者の任意による開催と考える。 竣工式は、工事完成後、本院主催により開催予定。
2	共通	起工式・竣工式の費用負担並びに出席者の人数をご指示下さい。 式典（安全祈願祭、竣工式）の予定がありましたら、負担区分・規模・人数などお教えください。	起工式の出席予定人数については、受注者と協議による。
3	共通 旧保育所について	(A-002 図) 旧保育所について、既存図面を御掲示ください。	旧保育所の図面はない。
4	共通 旧保育所について	(A-002 図) 旧保育所にモデルルームを設置するにあたり、既設の床・天井・壁を撤去する必要がある場合は、範囲を御指示下さい。又、モデルルーム撤去後、復旧が必要な範囲があれば併せて御指示下さい。	モデルルーム設置には、既設の床・天井・壁を撤去せずにモデルルームを施工することができると判断している。なお、モデルルーム撤去後は、状況に応じて、現況復旧のこと。
5	共通 工事区分表について	(A-010.011 図) 工事区分表において、下記項目の有無および詳細が不明です。御指示下さい。 ① 2-(1)：消火用水槽 ② 3-(6)：二重床下部の機器用基礎 ③ 9-(23)：鋼板パネルの切込および補強	①該当なし ②該当なし ③該当なし
6	共通	(A-002 図) ≪建築工事特記仕様書(A-002) ①一般共通事項 (32)検査または試験の費用≫ 「検査または試験の費用（旅費を含む）は、すべて請負者の負担とする」とありますが、旅費を伴う検査の回数および参加人数をお示しください。	本記載の「旅費を含む」は、受注者の立会いにかかる旅費を指し、発注者及び工事監理者の旅費は別途とする。 旅費を伴う検査は A-008 / 別表に記載の◎項目。

NO	質問事項	質問内容	回 答
7	共通	<p>《建築工事特記仕様書(A-002) II仕様2》</p> <p>契約後に提出する「請負代金内訳書」(現場説明書 工程表等の提出(2))の、契約における優先順位をお示しください。</p>	<p>「請負代金内訳書」は、参考資料として扱うため、契約における優先順位項目には該当しない。</p>
8	共通	<p>《建築工事特記仕様書(A-002) ①一般共通事項 (34)完成写真》</p> <p>「2. 撮影者は監督員の承諾を受けたものとする」とありますが、撮影者の指定はないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
9	共通	<p>《施工条件特記仕様書(A-009) 1. 工程関係 1. 関連工事との調整》</p> <p>配管内R I 排水の所定の減衰期間経過がいつであるか、お示しください。</p>	<p>契約後に受注者と協議する。</p>
10	共通	<p>(A-002図. A-020~024図. 設計書P447) 特記仕様書、一般共通事項、⑰室内空気中の化学物質の濃度測定において、測定対象室は全ての居室とするとございますが、仕上表の最右欄の化学物質濃度判定欄の○印162+42=204室(居室によっては複数)の数量と設計書183室とそれぞれ異なります。仕上げ表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>設計書を正とする。</p>
11	共通	<p>給水ポンプ室の施工時期、期間について設定されている条件を御指示ください。</p>	<p>特段、設定している条件はない。 現場説明書の工期に係るただし書きのとおり。</p>
12	共通	<p>(A-002.003図)</p> <p>特記仕様書、一般共通事項(A-002)及び土工事(A-003)に記載の建設発生土の運搬距離が4.8kmとございます。指定処分地があれば御指示下さい。</p>	<p>運搬距離4.8km記載は、積算上参考とした距離を示し、指定処分地はない。また、運搬距離の変更は、設計変更の対象外とする。</p>
13	共通	<p>先端医学棟の工程を検討するにあたり、別途設備切り回し工事の工程は必要でしょうか。影響なしと考えれば宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>特段、設定している条件はない。なお、準備工事期間中に接地新設・撤去、ガス管撤去(共に別途工事)等を行う必要がある。</p>

NO	質問事項		質問内容	回 答
14	共通		(A-405 図) 特高変電設備の施工時期、期間について設定されている条件をご指示下さい。(鉄板養生 4 か月、交通誘導員 10.5 か月の表記があります)	変電所建設及び変電設備据え付け期間を 4 か月とし、受電開始時期を平成 29 年 4 月と想定している。
15	仮設	請負者現場事務所について	A-002 ⑱に「南側隣地の駐車場の一部を～無償で使用できる」とありますが、具体的に位置と範囲がわかる資料のご提示をお願いします。	A-199 / STEP1 に記載有り。
16	仮設		(A-003 図) ③工事用水④工事用電力 構内既存の施設を利用できる(有償)となっておりますが、支給位置は工事仮囲内と考えてよろしいでしょうか。工事に必要な容量を供給いただけると考えてよろしいでしょうか。E X 400V 電力	構内既存の施設で利用できる容量・取出し位置は以下のとおり。 ①工事仮設 (1)電灯 1φ3W 100/200V 150A (30KVA 程度) 取出し位置：本館地階 電気室分岐盤より
17	仮設		特記仕様書 A-003 図の「②. 仮設工事, ③. 工事用水, ④工事電力」に構内既存の施設を利用できるとありますが、既存施設の何処の場所から利用できるのかを御指示ください。	(2)動力 3φ3W 200V 100A (30KW 程度) 取出し位置：本館地階 電気室分岐盤より ②現場事務所仮設 (1)電灯 1φ3W 100/200V 75A (15KVA 程度) 取出し位置：旧保育所 引込開閉器盤より (2)動力 ありません
18	仮設		(A-003 図) ⑤その他 積上共通仮設は指定仮設とするとありますが、それぞれのタワークレーン基礎形状をご指示下さい。又、屋上設置の場合 本体鉄骨への補強はないものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	受注者が選定するタワークレーンの機種に合わせて基礎を設定すること。 屋上設置のタワークレーンは、柱直上近傍に計画しているが、60t・m 級タワークレーンのみ sb40 の梁下 Z5～Z6 間に補強間柱 H-150×150×7×10 を 2ヶ所を当該タワークレーンの積算に見込むこと。
19	仮設		「積上共通仮設は指定仮設」とあるが、仮設方法を変更する場合、発注者了承を得た上で行い、当該仮設費に変更ある場合は精算するものと考えてよいか。	貴見のとおり。ただし、A-199 特記事項に記載のとおり、受注者の都合により、仮設の追加等を行う場合は、受注者の負担とする。
20	仮設		(A-003, A-009, k-01, K-02 図) A-009 図の「6. 仮設備関係 1 仮設備(仮	① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。 ただし、足場の工法・方式等について

NO	質問事項		質問内容	回 答
			<p>土留、仮橋、足場等)」にて、仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合は適用○となっています。</p> <p>①仮設山留、構台（図面 K-01、K-02）は、指定仮設と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②足場等の直接仮設は、任意仮設と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>は A-003 特記仕様書に指定項目がある。</p>
21	仮設		<p>（A-003、A-119、A401～405 図）</p> <p>特記仕様書、仮設工事、⑤その他に積上げ共通仮設は指定仮設とし、直接仮設は任意仮設とする。となっています。</p> <p>指定仮設は設計変更の対象と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>御指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
22	仮設		<p>施工条件特記仕様書 A-009 図の「9. 排水関係. 2. 水替・流入防止施設」に釜場排水とありますが、指定仮設と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
23	仮設		<p>仮設計画図 A-199 図の「仮設計画図ステップ 3」にロングスパンエレベーター（2 基）の表記がありますが、設計書には記載がありません。任意仮設と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
24	仮設	山留めの部分撤去について	<p>K-01 図に山留め撤去 GL-1, 000～1, 550 範囲が記載ありますが、設計書には見受けられません。図面を正と考えて宜しいですか。</p>	<p>設計書別紙明細 00-0011 のソイルメント連続壁の項目に山留撤去（GL-1, 000～1, 550）に係る費用を含めて積算のこと。</p>
25	構造	コンクリート高性能 AE 減水剤について	<p>（A-003 図）</p> <p>建築特記仕様書（2）、コンクリート混和材料に AE 減水剤と高性能 AE 減水剤の両方に印があり、使い別けが不明です。下記と考えて宜しいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ F c 3 6 N 以上：高性能 AE 減水剤 ・ F c 3 6 N 未満：AE 減水剤 	<p>設計書に記載のとおり。</p>
26	構造	マスコンクリート高性能 AE 減水剤について	<p>（A-003 図）</p> <p>建築特記仕様書（2）、マスコンクリート混和材に『AE 減水材又は高性能減水材』と有りますが、使い別けが不明です。高性能 AE 減水剤を適用と考えて宜しいです</p>	<p>貴見のとおり。</p>

NO	質問事項		質問内容	回 答
			か。	
27	構造	マスコンクリート範囲について	(A-003 図・S-01 図) 建築特記仕様書(2)、マスコンクリートの適用範囲は、構造設計概要、F 使用材料 1. コンクリートに記載の放射線治療部分と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
28	構造	立上りコンクリート仕様について	(S-01 図) 構造設計概要、F 使用材料 1. コンクリートに『1階～R階 床 Fc 24 S15』と有りますが、1階～R階の機械基礎、パラペット等のRC立上りコンクリート仕様が不明です。Fc 24 S18 と考えて宜しいですか。	Fc24 S15 とする。 ただし、1階立上りのみ Fc24 S18 とする。
29	構造	CS1スラブ下型枠仕様について	(S-15 図) 2階床梁伏図、Y5・X9-10通り間スラブCS1のスラブ下型枠仕様が不明です。フラットデッキT1.0と考えて宜しいですか。	S-53に記載のとおり」PL-1.6とする。
30	構造	施工用表層改良について	(設計書P16・A-003 図) 施工用表層改良の配合量が以下のように異なります。 100KG/m3と考えて宜しいですか。 ・A-003 図：100KG/m3 ・設計書P16：50KG/m3	100kg/m3 を正として積算のこと(設計書の50kg/m3 は誤記)。
31	構造		(A-003 図. 設計書P16) 特記仕様書「④地業工事. ⑨事業改良工法」にて、施工用表層改良(既存建物解体跡地等)とありますが、指定仮設と考えて宜しいでしょうか。 指定仮設の場合、⑨地盤改良工法に配合 100kg/m3 とございますが、設計書P16には50kg/m3 となっています。50kgで見込めば宜しいでしょうか。御指示下さい。	
32	構造	マットスラブ配筋について	(S-37 図) マットスラブ配筋について、マットスラブ範囲断面表の配筋D35@200～400が主筋方向・配力筋の区別がありません、またマットスラブKEYPLANに『1. スラブ主筋方向は↑↓方向とす	断面表に記載の配筋は柱列帯の配筋で、下記のように考えること。 X～通り：Y方向柱列帯配筋 Y～通り：X方向柱列帯配筋 柱列帯の配力筋は、中間帯配筋のD25@200を配筋する。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			<p>る』と有ります、配筋D35@200～400は主筋方向↑↓を示すと考えて宜しいですか。</p> <p>また、上記の場合、X方向配力筋は、柱間帯配筋D25@200を全面と考えると考えて宜しいですか。</p>	
33	構造	鉄筋継手について	<p>(S-01・S-37 図)</p> <p>構造設計概要、F 使用材料、2. 鉄筋の表において、</p> <p>D19. D22. D25の備考欄に（圧接は柱・梁主筋のみ）と有ります、</p> <p>D29以上の備考欄には記載が有りません、</p> <p>D29以上の鉄筋継手は放射線治療部マットスラブD35も含め、全てガス圧接と考えると宜しいですか。</p>	貴見のとおり。
34	構造	嵩上げコンクリート内の配筋	<p>(A-020. S-04 図)</p> <p>嵩上げコンクリートの厚みがt100～700ありますが、配筋は配筋基準図3の配筋要領に倣うと考えると宜しいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $150 > t$ 3. $2\phi 100$ ・ $150 \leq t$ 6 $\phi 100$ 	貴見のとおり。
35	構造		<p>(S-52 図)</p> <p>内部立上りの断面及び配筋詳細（該当ある場合）は、外周立上りと同仕様と考えるとよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p> <p>小線源室周囲の立上り壁はS-42のW48による。</p>
36	構造		<p>(S-51 図)</p> <p>天井遮蔽鉄板の小口部分に補強筋の記載がありません。補強は不要と考えるとよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>遮蔽鉄板はスラブ内に内包されており、特段の補強は不要と考える。</p>
37	構造		<p>(A-025 図、S-13 図)</p> <p>湧水槽(FS1)の水勾配は1/200として、底盤面増打の高さが100以上の範囲は、ひび割れ防止筋としてD10@200 珪素 S の配筋が必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	貴見のとおり。
38	構造		<p>(S-33 図)</p> <p>基礎 杭頭周辺部補強リストに於いて、施工範囲の基礎符号にF1B、F2B、F3</p>	貴見のとおり。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			A、F 3 B、F 3 1 Aの記載がありませんが、採用の基礎同様にH 1 が 4 5 0 のため、採用に含めると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
39	構造		<p>基礎梁のコンクリートが、普通コンクリートとなっていますが、基礎梁の梁巾が最大断面寸法にて1, 5 0 0、2, 8 0 0 と大きく、マスコンクリート規定を適用し、低熱ポルトランドセメント 高性能A E減水剤使用としなくて宜しいでしょうか。</p> <p>マスコンクリートとする場合、耐圧版天端から1階床スラブ下端までの、基礎、基礎梁全て(梁巾1, 5 0 0未満の梁も含む)を適用範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	放射線治療棟周りのFG41～44は、放射線治療棟と同じマスコンクリートとするが、その他は普通コンクリートとする。なお、FG41～44はスラブ上端までをマスコンクリートとする。
40	外部	渡り廊下4パラペットについて	(S-67 図・A-056 図) P E T棟 渡り廊下復旧図(S-67 図)にR Cパラペット詳細図が有りますが、渡り廊下4詳細図(A-056 図)でパラペットは乾式です。渡り廊下4詳細図(A-056 図)を正と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
41	外部	S U S サインパネルについて	(A-037 図) C部 詳細図において、天井「S U S パネル」が、サイン詳細図参照と記載がありますが、サイン詳細図には記載がありません。 S U S パネルの厚み 及び、下地材を御指示下さい。	軽鉄下地のうえ SUS パネル t2.0 とする。
42	外部	屋根の笠木の仕様について	(A-020 図) 外部仕上表で、笠木の仕様が「アルミ押出型材 既製品」と「アルミ 曲げ加工」と2種類記載が有りますが、それぞれの明確な使い分け範囲が不明です。使い分け範囲について、A-053 図 渡り廊下2のみ アルミ曲げ加工とある事より、下記の様と考えて宜しいですか。 ・屋根1～7：アルミ t 2. 0 曲げ加工 (渡り廊下の屋根部分) ・屋根8～10：アルミ押出型材 t 2. 0 既製品 (本体屋根部分)	屋根1～7：アルミ曲げ加工 屋根8～10：アルミ押出型材

NO	質問事項		質問内容	回 答
43	外部		(A-027・049～056 図) 渡り廊下屋根の笠木は、渡り廊下2（屋根7）のみアルミ t2.0 曲げ加工と考え、他の屋根はアルミ既製品と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	
44	外部		(A-020 図) 外部仕上表の笠木にアルミ押出型材とアルミ曲げ加工がありますが、 下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *屋根1～7：アルミ曲げ加工 *屋根8～10：アルミ押出型材	
45	外部	耐火被覆の有無について	外壁押出成形セメント板の「取付金物」「開口補強金物」に耐火被覆は必要でしょうか。必要な場合には仕様・耐火時間を御指示下さい。	取付金物は耐火被覆不要。 開口補強金物は A-017 / 耐火時間指定に記載のとおり耐火被覆必要。
46	外部		(A-039 図) 外壁足元 水抜きパイプの取付ピッチは、600mm と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	@1800。
47	外部		(A-040 図) ECP 取付詳細図に取付ピッチの指示のない金物の記載が御座いますが、取付ピッチの記載の無い金物は 600mm と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	S-56 / 横長外壁受け下地鉄骨要領、S-64 / 外装材受け下地鉄骨等による。
48	外部		(A-038 図) 設計書 P. 48 にて「目隠し壁 ECP 脚部 パラペット上部 通しアンクル 8.8m」が計上されていますが、屋上目隠し（パラペット取合い部）詳細図では該当箇所の記載が御座いません。「目隠し壁 ECP 脚部 パラペット上部 通しアンクル」は無しと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	有りとする。 A-038 / 屋上目隠し（パラペット取合い部）詳細図の ECP 脚部の「L-65*65*6（通し）」を「L-90*75*6（通し）」に読み替えること。
49	外部		(A-038 図) 屋上目隠し壁の鉄骨が溶融亜鉛メッキとありますが、 塗装等は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。

NO	質問事項		質問内容	回 答
50	外部		(A-031.038図) 屋上目隠し壁 押出し成形セメント板の仕上は外側のみとし、 内側は素地と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	貴見のとおり。
51	外部		(A-030.102図) 南側(Y2通り以北)で外壁押出成形セメント板を鉄骨梁が貫通しますが、納まりは雑詳細図C(3)のC-23渡り廊下2のメンテ床に倣いStPL-6 全周溶接、四周シールと考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	S-56 / Y4通り・X5~X9a 通り間 b3 端部 取合要領に記載のとおり、鉄骨が外壁押出成形セメント板を貫通する部分はプレートのため、このプレートの四周をダブルシールのこと。
52	外部	各種シーリングについて	(A-084.085図) 建具廻りのシーリングが、建具詳細図で二重シーリングとなっておりますが、建具廻り以外のシーリング(異種の仕上材が取り合う部分等)については、全てシングルシーリングと考えて宜しいですか。 又、二重シーリングが必要な場合には施工範囲を御指示下さい。	設計書別紙明細に記載のとおり。
53	外部		(A-103図) 配管取出口(C-26e)屋根に軒先水切のような記載が御座いますが、仕様はカラーガルバリウム鋼板 t0.4加工と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
54	外部		(A-019・020・030・031図) 仕上材料表(外壁)に撥水剤の記載が御座いますが、外部仕上表及び立面図に記載が御座いません。撥水剤は適用無しと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	A-197 / 凡例 81 給水ポンプ室新設 / 北側立面図・西側立面図に有り。
55	外部		(A-049~056図) 外部エクステンションジョイント金物について、設計書より参考メーカー・品番はカネワ EXジョイントと考えてよろしいでしょうか。また、カネワ EXジョイントでよろしい場合、詳細品番(AX12-50G等)を併せてご指示下さい。	貴見のとおり。 詳細品番は現場承諾事項とする。
56	外部		(A-006図) 建築特記仕様書(6)に床エクステンションジョイントが、ABC商会:アーキパン	記載は、同等品を示しており、採用メーカーは現場承諾事項とする。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			ジョンSとありますが、床以外はカネソウ：EXジョイントと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
57	外部		(A-020図) 外部軒天ケイカル板の天井回り縁の仕様はアルミ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
58	外部		(A-039図) 矩計図詳細図(1)の6階屋上回り詳細図(屋根9)に鋼製下地のアスファルト防水の排水溝がW250ですが、屋根1～7.10も同じと考えて宜しいでしょうか。	屋根1～7：W400 屋根9・10：W250
59	外部		(A-048図) 屋外鉄骨階段に段鼻ノンスリップは不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、仕様を御指示下さい。	不要とする。
60	内部	建物内、堅樋の仕様について	(A-057～066図) 建物内、堅樋：配管用鋼管は、SGP白管と考えて宜しいですか。併せて、防露巻の仕様を御指示下さい。	貴見のとおり。 天井内・パイプシャフト内防露巻：ポリスチレンフォーム保温筒 t20 着色アルミガラスクロス仕上 機械室内防露巻：ポリスチレンフォーム保温筒 t20 合成樹脂カバー仕上
61	内部	冷水装置用コンクリート基礎の仕様について	(A-011図) 工事区分表2 リニアック1～3において、(12)冷水装置用コンクリート基礎が建築工事とありますが、寸法、仕上および設置場所が不明です。詳細を御指示下さい。	A-192 / 凡例73に含まれている。
62	内部	リニアックの機器搬入路の拡張・復旧工事について	(A-011図) 工事区分表2 リニアック1～3において、(13)機器搬入路の拡張・復旧工事(必要であれば)とありますが、不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲、壁仕様などの詳細を御指示下さい。	不要とする。
63	内部	空調ダクト貫通部鉛防護の詳細について	(A-011図) 工事区分表2 サイバーナイフ 空調ダクト貫通部鉛防護が建築工事とありますが詳細が不明です。ダクト貫通場所、鉛厚などの詳細を御指示下さい。	「空調ダクト貫通部鉛防護」はA-135の天井内ダクト外遮蔽棚を指す。 ダクト貫通場所は迷路両端のRC下り壁。 鉛厚は設計ではt10としているが、受注者は再度遮蔽計算を行い安全性を確かめること。

NO	質問事項		質問内容	回 答
64	内部		(A-020・106 図) 1 階リニアック機械室の床仕上について、リニアック室1 詳細図では防塵塗装仕上とありますが、仕上表ではビニール床シート D です。仕上表優先でビニール床シート D と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	仕上表を正とする。
65	内部	リニアック装置ベース埋込用基礎内の仕上について	(A-105.106 図) リニアックの装置ベース埋込用基礎内の防塵塗装は F L P - 2 と考えて宜しいですか。	A-106 / ⑥装置ベース埋込用基礎・配管に記載のとおり FLP-1。
66	内部	配線ピット内の仕切り板の仕様について	(A-113 図) サイバーナイフの配線ピット内に仕切り板(亜鉛メッキ鋼板)がありますが、サイズは上部仕切板が L - 7 5 × 7 5、中央仕切板が H 2 5 0 と考えて宜しいですか。	仕切り板は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
67	内部	MRI 室のクエンチパイプの範囲について	(A-127 図) MRI 室詳細 1 において、⑧クエンチパイプ配管用壁開口が建築工事とありますが、設置場所およびか所数が不明です。御指示下さい。	A-031 / 東側(X10 通以西)の 3FL+3, 500H にある四角が該当、1ヶ所。
68	内部	手術室 7 のアンギオ架台鉄骨の工事区分について	(A-126) 手術室 7 アンギオ架台鉄骨の記載がありますが、工事区分が不明です。 ※ 4 のボスー 1 5 0 × 1 5 0 × 3 6 及び ※ 1 1 の M 1 2 ボルトはメーカー工事で、それ以外の吊材、梁、軸ブレースは建築工事と考えて宜しいですか。	※ 4 のボスー 150×150×36 はメーカー工事、※ 11 の M12 ボルト、吊材、梁、軸ブレースは建築工事とする。
69	内部	フリーアクセスフロアのウイスカ対策の範囲について	(A-019 図) フリーアクセスフロアの詳細にウイスカ対策仕様とありますが、設計書に記載の通り 2 F サーバー室の F A - 3 のみに適用すると考えて宜しいですか。	A-019 を正とし、FA-1・2・3 共ウイスカ対策仕様を適用する。
70	内部	2 階実習生控室などの耐火被覆の有	(A-035 図) リニアックの上部に位置する、2 階実習生控室などの鉄骨柱、梁に耐火被覆は不要と考えて宜しいですか。	不要である。

NO	質問事項		質問内容	回 答
		無について	必要な場合の耐火時間は2時間と考えて宜しいですか。	
71	内部	手術室の空調室外機用基礎の仕様について	(A-142 図) 手術室仕様書3において、特記事項h 空調室外機用基礎工事が建築工事とありますが、基礎の寸法、仕上げ等の詳細が不明です。御指示下さい。	A-103 / C-29に含まれている。
72	内部	6階機械室2の床仕上について	(A-024.067 図) 仕上表5において、6階機械室2の床仕上に塗膜防水A、FLP-1の記載があります。全面塗膜防水Aと考えて宜しいですか。	機械室1：塗膜防水A・FLP-1、機械室2：塗膜防水Aとする。なお機械室1床のRC立上りより北側を塗膜防水A、南側をFLP-1とする。
73	内部	供給ホールの天井開口について	(A-062 図) 3階供給ホールの一部に天井開口とありますが、デッキスラブ表しと考えて宜しいですか。 また、天井懐内は壁仕上で塞ぐと考えて宜しいですか。	デッキスラブ現しとし、天井懐内の塞ぎは不要(別途工事で回転棚を設置予定)。
74	内部		(A-058 図) 1階既滅菌室の天井開口について、枠・下り壁等は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は仕様・詳細をご指示下さい。	不要である。
75	内部		(A-058 図) 1階組立室・洗浄室・既滅菌室について、1階平面詳細図(2)にグレーチングらしき記載がありますが別途と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
76	内部		(A-058 図) 1階組立室と洗浄室との取合間仕切について、機器が壁を貫通していますが枠等は不要でしょうか。必要な場合は機器のサイズ及び枠仕様をご指示下さい。	枠は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
77	内部		(A-058 図) 1階オートクレーブの下り壁(P4)について、見切枠等は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は仕様・詳細をご指示下さい。	不要(P4は天井内)である。

NO	質問事項		質問内容	回 答
78	内部	シーリングの仕様	(A-004 図) 内部シーリングは下記のように考えて宜しいですか。 ・クリーンルーム取合部:SR-1 抗菌仕様 15×10 ・クリーンルーム壁・天井目地:SR-1 抗菌仕様 6×6 ・その他内部シーリング:MS-2 15×10	貴見のとおり。
79	内部	天井レールの設置部屋について	(A-180) 天井レール詳細図がありますが、該当する部屋は2F講義室(災害対策本部)と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
80	内部		(A-180 図. 設計書P85) 天井レール詳細図に吊りボルト、塞ぎプレートが有りますが、設置範囲が不明です。設計書通り、2階講義室に見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおりで積算のこと。
81	内部	天井内の耐火間仕切の仕様	(A-101 図) 雑詳細図C C-14にシャッター受材の詳細がありますが、防火区画部分の天井内の耐火間仕切の仕様を御指示下さい。	該当はSS-1a(2階 渡り廊下4)で、天井内の耐火間仕切は A-059 に記載のとおり T2。
82	内部	床見切縁の仕様	(A-063 図) 4階スタッフラウンジ、5階プレイルームの床見切縁の仕様を御指示下さい。	A-019 / 仕上材料表に記載のとおりステンレス製(アシスト NO. 20-307 同等品)。
83	内部		(A-017・063 図) 4階(スタッフ更衣・休憩)男女更衣室入り口の床見切りは仕上特記に記載されているステンレスFB-3×15 と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	床見切りは無しとする。
84	内部		(A-023・024・034 図) 空調機械室の床仕上について、矩計図(2)では1階空調機械室2は塗膜防水Aですが、仕上表(5)ではFLP-1(ケイ酸質系コンクリート表面強化材)です。仕上表優先でFLP-1(ケイ酸質系コンクリート表面強化材)と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
85	内部		(A-023・034 図)	仕上表を正とする。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		4 階(その他)空調機械室床仕上の塗膜防水が仕上表では塗膜防水Dですが、矩計図では塗膜防水 A です。矩計図優先と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	
86	内部	(A-068・073 図) 2 階実習生控室廻りの天井梁型仕上は壁仕上と同様に LGS 下地 GB-R 12.5+GB-NC9.5 の上ビニルクロス貼と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
87	内部	(A-021・060 図) 2 階サバ-室の壁下地軽鉄は仕上表備考に耐風圧 1000Pa 対応仕様とありますが、サバ-室内柱廻り(PK1)・外廻り(PK1)が適用範囲と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。又、サバ-室周囲耐火遮音間仕切(T2G)の軽鉄に関しても同様に耐風圧 1000Pa 対応仕様と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	共に貴見のとおり。
88	内部	(A-064 図) 4 階 X8-9 間 Y8 通り(HCU)WC の洗面器前に鏡の記載がありませんが、化粧鏡 B が必要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	鏡は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
89	内部	(A-065 図) 5 階(病院研究所)看護研究室に化粧鏡 B が必要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	鏡は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
90	内部	(A-023・064 図) 4 階 X6-7・Y6-7 間に部屋名のない部屋が記載されていますが、各仕上は前室 1 に倣い下記のように考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ■床:SF-1 の上ビニル床シート B ■巾木:床材立上 H100 ■壁:PU ■天井:PU(天井高 H2700) ■廻縁:塩ビ製 ■備考:壁面保護材 A	手術ホール 1 と同仕上とする。
91	内部	(A-058～067 図) 平面詳細図で RC 立上りの範囲が記載され	RC 立上りは不要。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		<p>ていますが、EPS・PS 等で塗床巾木 H=100 の範囲に RC 立上りの記載がありません。塗床巾木使用範囲は RC 立上りが必要なものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	
92	内部	<p>(A-019 図、A-023 図) 床材立上げ巾木(塗床:FLP)に於いて、同所は RC 造立上が必要と思われま。各階共通として、A-023 図 4 階〈その他〉空調機械室、PS・EPS・DS より同室廻りには RC 造立上 H=100 が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	
93	内部	<p>(A-022・062 図) 3 階(手術)診療材料庫の壁面保護材 A が仕上表には記載されていませんが、平面詳細図では記載されています。壁面保護材 A は必要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。</p>
94	内部	<p>設計書内装工事に計上されている「スラブ下押出法^ホポリスレンフォーム板 厚 25 接着張」が図面に見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>押出法^ホポリスレンフォーム板 厚 25 は A-036 に記載のある^ホポリ・救急車寄上部スラブ下の断熱材を指す。</p>
95	内部	<p>設計書金属工事に計上されている 2F 廊下 4 空調機搬入フック 2ヶ所が図面上見当たりませんでした。2F 廊下 4 空調機搬入フックは必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>貴見のとおり。 S-53 / 吊りフック(EV・空調機搬入用)要領に記載有り。</p>
96	内部	<p>(設計書No.79) 設計書金属工事に 1F 救急車寄席下り壁軽鉄下地 (桐井製作所 耐風圧天井下地材 CC-25 同等)が計上されていますが、図面に見当たりません。無しと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。また、必要の場合は範囲・詳細も併せてご指示下さい。</p>	<p>A-037 / C 部詳細図の H150 部分 2ヶ所が該当。</p>
97	内部	<p>(A-178 図) 5 階臨床薬剤学教授室・教員室、医薬品情報解析学教授室・教員室の天井高が CH=2500 ですが、^ホレーション SP-27・28・29 の高さが H=2700 です。^ホレーション SP-27・28・</p>	<p>積算上、^ホレーション高さは H=2700 を正とし、契約後、受注者と協議する。</p>

NO	質問事項	質問内容	回 答
		29 の高さは H=2500 と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	
98	内部	<p>(A-086.088図)</p> <p>K-03:室名サイン(一般室)の1、4階の数量が下記のように異なります。サインリストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*サインリスト: 1階 5か所、4階 4か所</p> <p>*サインキープラン: 1階 4か所、4階 3か所</p>	貴見のとおり。
99	内部	<p>(A-086.087図)</p> <p>K-10:BY室名サイン(シート)の1～3階の数量が下記のように異なります。サインリストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*サインリスト: 1階 69か所、2階 60か所、3階 83か所</p> <p>*サインキープラン: 1階 68か所、2階 59か所、3階 82か所</p>	貴見のとおり。
100	内部	<p>(A-079.090図)</p> <p>U-01:衝突防止の仕様、寸法が下記のように異なります。サイン詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*建具特記:ステンレス φ30 @600</p> <p>*サイン詳細図:塩ビシート貼 W120×H80 @300</p>	貴見のとおり。
101	内部	<p>(A-086.092図、設計書P269.272.273)</p> <p>サインリスト、サイン詳細図に既存改修関係のサイン(KK-01～04)がありますが、サインキープランに図示が見受けられません。数量の振り分けは設計書通り、下記のように見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*本館改修(渡り廊下1・3取合):</p> <p>KK-01 6か所、KK-02 2か所、</p> <p>KK-03 9か所、KK-04 5か所</p>	貴見のとおりで積算のこと。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		<p>*北館改修：KK-01 1か所、 KK-03 6か所、KK-04 4か所</p>	
102	内部	<p>(A-019.079図) 鍵箱の本数、数量が下記のように異なります。仕上材料表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *仕上材料表：200組用（参考メーカー・品番より） 1か所 *建具特記：60組用 2か所</p>	貴見のとおり。
103	内部	<p>(A-062図) 3階車椅子WC(MR I)に多目的シートの図示が有りませんが、他車椅子WCに倣い、1か所見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	不要である。
104	内部	<p>(A-065.066.103図) 雑詳細図で、C-27:PS、空調機械室階段(3階、4階)の指示がありますが、平面詳細図より4階、5階に読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	貴見のとおり。
105	内部	<p>(A-104.183~186図) 昇降機詳細図で、EV1~7号機に煙感知器用天井点検口の指示がありますが、雑詳細図の天井点検口リストの数量に含むと考えて宜しいでしょうか。含まない場合は、仕様、寸法を御指示下さい。</p>	含んでいる。
106	内部	<p>(A-104.116図) 小線源室詳細図で、天井点検口の図示がありますが、雑詳細図の天井点検口リストの数量に含むと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様を御指示下さい。</p>	含んでいる。
107	内部	<p>(A-104.122図) 位置決めCT室詳細図で、天井点検口の図示がありますが、雑詳細図の天井点検口リストの数量に含むと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様を御指示下さい。</p>	含んでいる。
108	内部	<p>(A-104.124図) 手術室7(アンギオ)詳細図で、天井点検口の図示がありますが、雑詳細図の天井</p>	含んでいる。

NO	質問事項	質問内容	回答
		点検口リストの数量に含むと考えると考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様を御指示下さい。	
109	内部	(A-104. 135図) 放射線治療室 シールド詳細図で、天井点検口の図示が有りますが、雑詳細図の天井点検口リストの数量に含むと考えると考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様を御指示下さい。	含んでいる。
110	内部	(A-072. 101図) 5階男子WC1 小便器上部の間接照明ボックスは仕様が下記のように異なります。平面詳細図を正と考えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *平面詳細図:GB-R T12.5 + GB-NC T9.5 + EP塗装(凡例C-17a) *展開図:スチール T1.6 SOP	貴見のとおり。
111	内部	(A-072図. 設計書P171) 便所詳細図で、2階男子WC2、4階男子WC(手術部門)、5階男子WC2、男子WC3、女子WC3、男子WC4に隔て板の図示が有りますが、高さが不明です。設計書通り、下記のように見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 *H2000:4階男子WC(手術部門)、5階男子WC2、男子WC3、女子WC3、男子WC4 *H2300:2階男子WC2	貴見のとおりで積算のこと。
112	内部	(A-100図. 設計書P64) 設計書 木工事で、手洗器・洗髪流し用の陶器取付用補強材は75か所の記載が有りますが、平面詳細図の凡例(C-2c)では49か所しか見受けられません。平面詳細図に凡例(C-2c)の無い、手洗い・洗髪流しにも同様の補強材が必要と考えると、75か所見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおりで積算のこと。
113	内部	(A-099. 100図. 設計書P64) 設計書 木工事で、下記陶器取付用補強材に耐水ラワン合板の記載が有ります	貴見のとおり。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		<p>が、雑詳細図には、仕様の記載が見受けられません。設計書通り、耐水ラワン合板を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*手洗器・洗髪流し（雑詳細図C-2c） *小便器（雑詳細図C-2d） *掃除用流し（雑詳細図C-2e） *洗面台（雑詳細図B-1） *小便器手摺（雑詳細図C-1） *大便器L型手摺（雑詳細図C-1） *跳上式手摺（雑詳細図C-1）</p>	
114	内部	<p>（A-100図、設計書P64） 設計書に小便器手摺及び大便器L型手摺補強材の寸法は記載がありますが、雑詳細図には記載が見受けられません。設計書通り、下記寸法を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*小便器手摺：200×400 *大便器L型手摺：200×（900+900）</p>	<p>貴見のとおりで積算のこと。</p>
115	内部	<p>（A-074、085図、設計書P173） A-085 建具詳細図(2)の樹脂製カーテンボックスについて、下記不明点を御指示下さい。</p> <p>①設置範囲が不明です。設計書より4階病室に設置すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>②①が正の場合、病室のカーテンボックスの仕様が下記のように異なります。 A-085 建具詳細図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*天井伏図：スチール T1.6 SOP塗装 *建具詳細図：樹脂製</p> <p>③②が正の場合、設計書にカイダー・ベースボード工業の記載がありますが、建具詳細図には記載が見受けられません。 カイダー・ベースボード工業を適用すると考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。</p>	<p>① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。 ③ 採用メーカーは現場承諾事項とする。 ④ -</p>

NO	質問事項	質問内容	回 答
		④③が正の場合、カーテンボックスはカーテンレール一体型と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	
116	内部	(A-079図. 設計書P173) 樹脂製サッシの額縁について、材質:サッシ同材 仕上:SOPの 指示が有りますが、設計書 ユニット工事より カイダー・ベースボード工業/サッシ枠 S-70同等と考え、 SOP塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
117	内部	(A-073~075図. 設計書P83) 設計書 金属工事で、一般室ブラインドボックス、2階廊下4・5ブラインドボックスの記載が有りますが、天井伏図ではカーテンボックスと異なります。一般室、2階廊下4・5はカーテンボックスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
118	内部	(A-063.065.074.075図) 4階受付、5階プレイルームのブラインドボックスの厚みが下記のように異なります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *平面詳細図:T1.2 *天井伏図:T1.6	貴見のとおり。
119	内部	(A-074図) 天井伏図で、4階倉庫にカーテンボックスの図示が有りますが、片開き戸(SD-1e)部分に設置の為、カーテンボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とする。
120	内部	(A-102図. 設計書P87.88) 設計書 金属工事に、1階救急車寄 排水ピット蓋、排水桝蓋:重荷重用の記載が有りますが、雑詳細図では重荷重用の記載が見受けられません。重荷重用を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
121	内部	(A-102図. 設計書P88)	カネワ 細目ノスリップ QXB T2 を参考メーカーと

NO	質問事項		質問内容	回 答
			設計書 金属工事に、1階廃棄物庫 排水ピット蓋：カネソウ 細目ノンスリップ QXB T2同等の記載がありますが、雑詳細図では参考メーカー・品番の記載が見受けられません。カネソウ 細目ノンスリップ QXB T2同等を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	し、採用メーカーは現場承諾事項とする。
122	内部		(A-006.049.050.052～56図) 特記仕様書で、エキスパンションの耐火性能は有り(図示)と有りますが、渡り廊下の内部カバーは、耐火性能(耐火帯)の有無が不明確です。渡り廊下詳細図より床のみ耐火性能(耐火帯)有り、壁・天井は耐火性能(耐火帯)無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設計書に記載のとおり、渡り廊下内部の壁・天井も耐火性能(耐火帯)有りとする。
123	内部		(設計書P89～92) 上記質疑で、設計書に渡り廊下のEXP.Jカバーは1時間耐火と有りますが、図面に記載が見受けられません。1時間耐火を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。 ただし、2階床については2時間耐火を求められることから、契約後に受注者と協議する。
124	建具	建具の寸法について	(A-030.080図) AW-11aのH寸法について、建具形状はH3575(3475+100)、西側立面図 該当建具(5階 Y3通り)はH4870と異なっています。立面図を正と考えて宜しいですか。	積算上は H3575 とし、契約後に受注者と協議する。
125	建具	ガラス仕様について	(A-080図) 建具表 AW-27b 備考欄に「腰部ガラス：T5+A12+F5」とありますが、防火設備の為 FW6.8+A12+T5と読み替えて宜しいですか。	積算上は T5+A12+F5 とし、契約後に受注者と協議する。
126	建具	網戸について	(A-079.080図) 建具特記 ②アルミニウム製建具 3) a 網戸に「はめ殺しを除く全ての窓に設け、開き窓等の場合は内開き網戸とする」とありますが、網戸の設置は下記のように考えて宜しいですか。 ①AW-4他 換気・排煙サッシュ部：内	① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。 ③ 網戸は必要とし積算のこと。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			<p>開き網戸を設置</p> <p>②AW-29 (ハッチ扉) : 搬入用ハッチ扉 (常時閉鎖) の為 網戸は不要</p> <p>③AW-30. 31. 32. 35 : 人が出入りする扉 (常時閉鎖) の為 網戸は不要</p>	
127	建具		<p>(A-080 図)</p> <p>建具特記のアルミニウム製建具欄に、網戸は嵌め殺しを除く全ての窓に設けると御座います。AW-31b・AW-35a は両開き・片開き扉の為、網戸は不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	必要とし積算のこと。
128	建具	AW 外額縁について	<p>(A-084 図)</p> <p>AW詳細図 外部側3方外額縁 (W48) の仕様が不明です。御指示下さい。</p>	アルミ押出型材・B-2種とする。
129	建具	建具の形状について	<p>(A-080 図)</p> <p>AW-8の形状について、姿図はa. b. c 共 すべり出し付FIX窓、ガラス仕様の記載ではa. b. : FIXガラス、c : すべり出しと異なっています。ガラス仕様を正とし、AW-8 a. bは3段FIX窓、AW-8 cはすべり出し付FIX窓と考えて宜しいですか。</p>	貴見のとおり。
130	建具		<p>(A-080 図)</p> <p>建具表ではAW-28aのみ記載が御座いますが、建具表姿図ではAW-28aとAW-28bがあります。AW-28bは不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	貴見のとおり。
131	建具		<p>(A-080 図)</p> <p>建具表姿図ではAW-40aとAW-40bがありますが、建具表にはAW-40a・AW-40c・AW-40dが記載されております。姿図のAW-40bはAW-40c・AW-40dが該当するものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	貴見のとおり。
132	建具		<p>(A-079・084 図)</p> <p>AWの膳板について、建具特記のアルミニウム製建具欄には足がかりとなる高さの膳板はスチール厚2.3 曲げ加工と御座いますが、建具詳細図(1)では膳板部分はステンレス厚1.5とあり、相違しております。AWの膳板部分は建具詳細図(1)を正とし、ステン</p>	貴見のとおり。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			製と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	
133	建具	建具の数量について	(A-077.078.082.083 図) 下記建具の数量が建具表と建具キープランで異なっております。建具キープランを正と考えて宜しいですか。 (建具表) (建具キープラン) ・SD-71c : 2 1 ・LHD-3b : 4 3	建具表を正とする。
134	建具	建具形状について	(A-061.081 図) NHD-10bの形状について、 建具表 形状は2枚片引き、3階平面詳細図(前室4)は2枚引分と異なっています。平面詳細図を正と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。また、A-081 建具表(2)における NHD-10a と NHD-10b の形状を入れ替えるものとする。
135	建具	スチール製建具の防火性能について	(A-078.082 図) SD-20d-1 (機械室2) SD-20d-2 (電気室) について、6階建具キープランは防火設備(法規凡例○)とありますが 防火区画内にあることから 特定防火設備と読み替えて宜しいですか。	建具表を正とし、SD-20d-1 (機械室2)・SD-20d-2 (電気室) 共、特定防火設備(常時閉鎖式)とする。
136	建具	スチール製建具の防火性能について	(A-078.082 図) SD-20d-3 (機械室2)の防火性能について、建具表は特定防火設備、6階建具キープランは防火性能無しと異なっています。建具キープランを正と考えて宜しいですか。	建具表を正とする。
137	建具	扉内ロックウールの充填密度について	(A-079.082.083 図) 建具特記 ④鋼製建具 4) その他 eに「建具表にてT(AT)とあるものは戸内部にロックウール150kg/m ³ 充填」とありますが、建具表にてt(SAT)とあり備考欄にロックウール充填とある建具(SD-1h. LD-1b他)についてもロックウールの充填密度は150kg/m ³ と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。

NO	質問事項		質問内容	回 答
138	建具	扉内ロックウールの充填について	<p>(A-082.083 図)</p> <p>下記建具は遮音扉ではありませんが、建具表備考欄にロックウール充填とあることからロックウール充填150kg/m³と考えて宜しいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SD-10e ・LD-2c、LD-4b、LD-5b、LD-21d、LD-21f LD-21g、LD-21j、LD-21m、LD-31a ・LHD-3a、LHD-3b、LHD-3d、LHD-6a、LHD-25a 	貴見のとおり。
139	建具	軽量スチール製建具の枠仕上について	<p>(A-083 図)</p> <p>軽量スチール建具の枠は扉同仕上げ（AEB:アクリル樹脂エナメル焼付塗装）と考えて宜しいですか。</p>	貴見のとおり。
140	建具	操作窓の四方枠について	<p>(A-140.156 図)</p> <p>XW 操作窓の操作室側四方枠の工事区分が A-140 OP 室共通仕様書は手術室内装工事、手術室器具図は建築工事と異なります。OP 室共通仕様書を正と考えて宜しいですか。</p>	A-156 手術室器具図(1)を正とする。
141	建具		<p>(A-076 図)</p> <p>1階 X5～Y6 通り間の前室3内の EV7 脇 PS の建具に建具記号がありません。SD-50a と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	EV7 脇 PS の建具は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
142	建具		<p>(A-116 図)</p> <p>小線源室の入り口に引戸があるように思われますが、建具表がありません。別途工事と考えてよろしいでしょうか。本工事の場合は建具の詳細をご指示下さい。</p>	小線源室入口の引戸は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
143	建具		<p>(A-081～083 図)</p> <p>建具表にてスチール・軽量スチール・ステンレス製建具の D 寸法が 40 と御座いますが、これは扉見込寸法とし、枠見込寸法は壁厚よりいづれも 130 と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p>	A-079 / 1 一般共通事項 / 17) その他 / e による。
144	建具		(A-082 図)	貴見のとおり。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		<p>建具表の SD-20r・20s についてタイル貼り と御座いますが、タイル貼りは外部側の扉の片 面のみとし、もう片面及び枠はFU塗装と 考えてよろしいでしょうか。又、扉面のタ イル貼りの納まりを併せてご指示下さい。</p>	<p>扉面のタイル貼りの納まりは、磁器質タイル 45 二丁 弾性接着剤貼り、四方ステンスFB-6 HL とする。</p>
145	建具	<p>(A-081 図) 建具表にて SS-1a~3a の枠形状欄に SUS- FB と御座いますが、ガードレールが該当する ものと考えてよろしいでしょうか。ご指 示下さい。</p>	<p>ガードレール及びマグサが該当する。</p>
146	建具	<p>(A-081 図) シャッター廻りの仕様について、下記の通りに 考えてよろしいでしょうか。ご指示下さ い。 ■マグサ・座板:ステンス製 HL 仕上 ■開口三方枠:ステンス製 厚 1.5 200×25 HL 仕上</p>	<p>マグサ:ステンスFB HL 仕上 座板:ステンス製 HL 仕上 開口三方枠:なし</p>
147	建具	<p>(A-082 図) 建具表SD-30bにF:フロートガラ ス t=6の指示がありますが、1F前 室は特定防火設備の為、T2:耐熱ガラス (ファイアライト) t=8に読替えて宜 しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>積算上はフロートガラス t=6とし、契約後に受 注者と協議する。</p>
148	建具	<p>(A-083.078 図) 建具表LD-32b 備考に下記の指示 がありますが、 建具キープランに特定防火設備の凡例が 有りません。 建具キープランを正と考えて宜しいでし ょうか。御指示下さい。 *5F:廊下2(特定防火設備) *ガラ ス T2 t=8</p>	<p>貴見のとおり。</p>
149	建具	<p>(A-083 図) 建具表LHD-1b 備考に下記の指示 がありますが、 形状にガラスの指示が有りません。 ガラスは不要と考えて宜しいでし ょうか。必要な場合は、ガラスの寸法を御指示 下さい。 *3F:操作室(特定防火設備) *ガラ ス T2 t=8</p>	<p>不要とする。</p>

NO	質問事項		質問内容	回 答
150	建具		<p>(A-083.077.061図)</p> <p>建具表LD-5a 備考に下記の指示が有りますが、 建具キープランに特定防火設備の指示が有りません。 平面詳細図より耐火間仕切に設置の為、 特定防火設備を正と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。 *3F:BCR前室(手術)(特定防火設備) *ガラス T2 t=8</p>	<p>特定防火設備ではない。</p>
151	建具		<p>(A-081図)</p> <p>建具表SS-1a 備考に防火防煙シートシャッターの指示が有りますが、仕上: SOPより、スラットはスチール製 SOP塗装と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>仕上「SOP」を誤記とし、防火防煙シートシャッターとする。</p>
152	建具		<p>(A-083図)</p> <p>建具表AW-K5 形状に耐火ボードの図示が有りますが、1F前室の天井高は CH=3976の為、耐火ボードは不要 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>必要とする。</p>
153	建具		<p>(A-079図)</p> <p>建具特記の自動ドア開閉装置に巻き込まれ防止柵の記載が有りますが、図示が見受けられません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、該当建具を御指示下さい。</p>	<p>不要とする。</p>
154	建具		<p>(A-184図)</p> <p>昇降機詳細図で、4、5号機にカゴ戸閉点検口:W1800×H370以上の図示が有りますが、仕様が不明です。スチールSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>カゴ戸閉点検口は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。</p>
155	建具	錠種別について	<p>(A-079~083図)</p> <p>建具表 錠欄の凡例と建具特記 錠の種類 (⑧建具用金物 4.錠)は下記のように種別して宜しいですか。 (建具表 錠凡例)(建具特記 錠種別) ・X(電気錠) 電気錠 AUシリーズ ・Y(カードロック) カードロック MC20</p>	<p>開戸又は引戸に応じた電気錠・カードロックを積算に見込むこと。</p>

NO	質問事項		質問内容	回 答
156	建具	テンキーロックについて	(A-079.082.083 図) SD-10c他、備考欄にテンキーとある建具の錠は、建具特記 錠の種類(⑧建具用金物 4. 錠)のランダムテンキーロック(TK4L)と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
157	建具	電気錠の工事区分について	(A-011.079 図) 電気錠及びカードキーシステムの工事区分について下記不明点を御指示下さい。 ①電気錠の工事区分が工事区分表は設備工事、建具特記(⑧建具用金物 4-c 電気錠)は建築工事と異なっています。電気錠関連の工事区分は A-079 建具特記を正と考えて宜しいですか。 ②カードキーシステムは工事区分表より設備工事と考えて宜しいですか。 ③カードキーシステム用のカードキーについても設備工事と考えて宜しいですか。建築工事の場合は枚数を御指示下さい。	① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。カードキーシステムに用いる電気錠の工事区分は①による。 ③ 設備工事とする。
158	建具	ガラリ関連の工事区分について	(A-079 図) ガラリ関連の工事区分は下記のように考えて宜しいですか。 ①防火ガラリのFD：設備工事 ②チャンパーボックス：設備工事 ③チャンパー接続ボックス：建築工事 ④ガラリ裏 目隠しプレート：建築工事 また、①防火ガラリのFD、②チャンパーボックスが建築工事の場合は、仕様詳細を御指示下さい。	① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。ただし AG-6a のチャンパーボックスは建築工事とする。 ③ 貴見のとおり。 ④ 貴見のとおり。
159	建具		(A-079.81 図) アルミ製ガラリ裏のチャンパーボックスの設置範囲が下記の図で異なります。建具特記を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *建具特記：外部に面するガラリ *建具表(2)：AG-6aのみ	チャンパー接続ボックス：建築工事(外部に面する全てのガラリに設置) チャンパーボックス：別途工事(ただし AG-6a のみ建築工事で設置)
160	建具	チャンパー接続ボックス及び目隠しプレートについて	(A-081 図) AG1～5について、納まりの詳細が無くチャンパー接続ボックス及び目隠しプレートの有無が不明です。必要な場合は寸法・詳細を御指示下さい。	チャンパー接続ボックス及び目隠しプレートが必要。詳細はA-084 / AWガラリ部詳細図による。

NO	質問事項		質問内容	回 答
161	建具	チャンバ ー 接 続 ボ ック ス に つ いて	(A-081 図) A G - 6 a の備考欄にチャンバ ーボックス 付とありますが、チャンバ ー接続ボッ クス の寸法が不明です。ガラリ寸法(W5 00×H500)×奥行D534.5程 度 と 考 え て 宜 し い で す か。	貴見のとおり。
162	建具		(A-079 図) 建具特記仕様書のガラス欄に飛散防止フィルム と半透明フィルムの記載がありますが、飛散 防止フィルム範囲以外のすべてのガラスに半透 明フィルムが必要と考えてよろしいでしょ う か。ご指示下さい。	A-079 / 14ガラス / 3)フィルム / e 及び 4)そ の他 / a に記載のとおりに設置のこと。
163	建具		(A-079 図) 建具特記、⑭ガラス3) フィルム貼りの範囲が不明 です。外部サッシの腰下部分のガラスは全て 半透明のフィルムを貼るとされています。外 部サッシの腰下部分がどの部位を指すか不明 です。大型の床からのガラスも腰までフィ ルムを貼るのか腰無目枠がある建具の場合 か不明です。腰高さも合わせてご指示下 さい。	掃出サッシのうち、腰無目がある場合は腰無 目より下の範囲、腰無目がない場合は天 井無目より下の範囲をいう。
164	昇 降 機		(A-002・181 図) 図面A-002 『建築特記仕様書(1)』 においてⅡ項 仕様に[国土交通省大臣官 房官庁営繕部公共建築工事標準仕様書 (建築工事編)(平成25年版)]を適 用する旨、記載があります。[公共建築 工事標準仕様書(機械設備工事編)平成 25年版]を適用するに当たり、A-181 『昇降機仕様書』01, 02号機のかご室 仕様に記載のある壁・出入口上板・かご 戸化粧鋼板はメーカー標準にて積算させ て頂いてよろしいでしょうか。 【化粧鋼板材質について】 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事 編)平成25年度版 第1章第2節 2.2.2.3 かご室及び2.2.2.4 かごの戸 JIS G 3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯) JIS G 3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯) JIS G 3313(電気亜鉛めっき鋼板及び鋼	本工事には公共建築工事標準仕様書(機 械設備工事編)は適用しないため、メーカ ー標準にて積算して支障ない。

NO	質問事項		質問内容	回 答
			帯) メーカー標準の化粧鋼板材質 JIS G 3302 (電気亜鉛めっき鋼板) 本材料は標準仕様書指定の材質と同程度の強度があるとメーカーが見解を出しております。	
165	昇降機		(A-181~187図) エレベーター図の仕様(シャフト寸法・扉寸法、捜査盤)が、エレベーター製作会社1社特有の寸法仕様となっています。国内エレベーター製作会社の同等仕様にて、変更可能と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	シャフト寸法はA-182~186に記載の「〇〇まで可」の寸法により複数社対応している。扉寸法は図面以上であれば同等とする。
166	昇降機		(A-010. 183~186図) EV1~7号機ピット タラップの工事区分が下記のように異なります。昇降機詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。工事区分が正の場合は、仕様詳細を御指示下さい。 *工事区分表：建築工事 *昇降機詳細図：EV工事	昇降機詳細図を正とする。
167	昇降機		(A-187図) 図面 A-187『昇降機詳細図(6)』の仕様要綱 ① カゴ・出し入れ口方向 カゴ貫通2方向とありますが平面図(建築意匠・昇降機詳細図)では一方向出入口となっております。一方向出入口にて積算させて頂いてよろしいでしょうか。 ② 法的に不要と思われる為、遮煙機能付→遮煙機能ナシ(平12建告第1360号仕様)にて積算させて頂いてもよろしいでしょうか。	① 貴見のとおり。 ② 遮煙機能付とする(法的に必要)。 なお、設計書の昇降機08号機(小荷物専用昇降機)の項目に監視盤(自立式)を見込むこと。
168	外構	凡例12の範囲について	(A-189.191) 外構詳細図(1)に、凡例12の擁壁撤去が有りますが、外構撤去図に、範囲の記載がありません。範囲を御指示下さい。	A-189のヘリポートマークの北側植栽帯に有り。
169	外構		(A-190図) 敷地南東側にゼブラゾーン、横断歩道が御座いますが工事範囲内のみの一部分のみ新設と考えてよろしいでしょうか。ご指示	貴見のとおり。

NO	質問事項	質問内容	回 答
		下さい。	
170	外構	(A-189・191 図) 外構詳細図(1)より凡例4の縁石撤去の記載が御座いますが外構撤去図より凡例4の記載が御座いません凡例4の縁石撤去は今回工事には不要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
171	外構	(A-190 図. 参考設計書P206) 設計書 外構-1にすきとり(H300程度)の記載が有りますが、外構平面図に舗装仕上レベルが見受けられません。舗装仕上レベルが判る資料を御提示下さい。	A-190 に記載のレベル表記が舗装仕上レベルを示す。
172	外構	(A-190. 191 図. 設計書P206) 設計書 外構-1に凡例01:街渠(基礎コンクリート幅960)の記載が有りますが、外構平面図、外構詳細図に見受けられません。設置範囲を御指示下さい。	A-190 の凡例 A 自動車駐車場ゲートの北側の街渠幅広部分を指す。
173	外構	(A-189 図. 設計書P196) 設計書 外構-1にトラフィックペイント消去35.2mの記載が有りますが、外構撤去図に見受けられません。消去の範囲を御指示下さい。	A-190 の PET センター西側の、35ゼブラゾーン、及び35横断歩道の一点鎖線内とする。
174	外構	(A-190. 192 図. 設計書P215) 設計書 外構-1に凡例37:出入口ステップ(現場打ちコンクリート階段)の記載が有りますが、外構平面図、外構詳細図に見受けられません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-190 及び A-192 の凡例 37 に記載のとおり。
175	外構	(A-192 図) 凡例38:自立サイン(1200×600)の基礎の詳細が不明です。既製独立基礎と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
176	外構	(A-192 図) 凡例38:自立サイン(450×2000)の基礎の詳細が不明です。下記を御指示下さい。 ①奥行寸法 ②配筋	基礎共一時撤去・再使用のため、詳細は不要と考える。

NO	質問事項		質問内容	回 答
177	既存改修	仕上げの仕様について	(A-198) 守衛室の改修について、改修後の仕上の仕様が不明です。下記のように考えて宜しいですか。 ①ビニル床シート → ビニル床シートA ②ビニル床タイル → ビニル床タイルA ③ビニル巾木、化粧石膏ボード、岩綿吸音板 → 先端医学棟に倣う	① 貴見のとおり。 ② 貴見のとおり。 ③ 貴見のとおり。
178	既存改修	天井インサートについて	(A-198) 守衛室の改修について、既存のインサートは再利用すると考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
179	既存改修	改修内容の詳細について	(A-049～056) 各渡り廊下との接続部の改修において、内部の既存仕上、改修後の仕上、改修範囲などの詳細が不明です。御指示下さい。	既存仕上・改修後仕上は設計書の既存改修の細目による。改修範囲は、A-051 / 本館既存平面図等に記載のとおり、撤去部より1mの範囲。
180	既存改修		(A-049～051 図) 1階待合ホールの改修が撤去部より1mの範囲を仕上撤去新設とありますが、既存及び改修後の床・壁・天井の仕上及び下地(ボード・LGS)の仕様をご指示下さい。	既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書の既存改修の細目による。
181	既存改修		(A-049～051 図) 2・3階廊下の改修後壁仕上が不明です。壁仕上をご指示下さい。	既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書の既存改修の細目による。
182	既存改修		(A-049 図) 3階前室の鋼製建具撤去後の改修で取合補修とありますが、既存床・巾木・壁・天井の補修範囲及び既存床・巾木・壁・天井の仕上をご指示下さい。	補修範囲は1mとする。 既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書の既存改修の細目による。
183	既存改修		(A-054 図) 渡り廊下3取合 既存本館棟2階廊下の撤去範囲1mの改修範囲の床・巾木:仕上、壁・天井:仕上及び下地材をご指示下さい。	既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書の既存改修の細目による。
184	既存改修		(A-052・053 図) 下記部屋の撤去周囲1mの改修範囲の床・巾木:仕上、壁・天井:仕上及び下地材をご指示下さい。 ■1階救急ホール ■2階救急前室 ■3階救急前室	既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書の既存改修の細目による。

NO	質問事項	質問内容	回 答
185	既 存 改 修	(A-056 図) 渡り廊下 4 取合 既存廊下の撤去範囲 1m の改修範囲の床・巾木:仕上、壁・天井:仕 上及び下地材をご指示下さい。	既存下地仕上、改修後下地仕上は設計書 の既存改修の細目による。
186	既 存 改 修	(A-051～053 図) 渡り廊下 2 詳細図(1)にて、循環器センター 2・ 3 階に腰壁(RC)H=140 撤去とあり、循環器 センター既存断面図でも表記が御座います。 左記より渡り廊下 1 詳細図(3)の本館既存 断面図にて 1 階に循環器センター既存断面図 と同様な立上りが見受けられますので、 本館側にも腰壁(RC)H=140 の撤去が発生 すると考えてよろしいでしょうか。ご指 示下さい。	本館 1 階 前室の RC 立上りは撤去しない。
187	既 存 改 修	(A-053 図) 既存断面図にアルミ製庇撤去とありますが、 W6600×D500 と考えてよろしいでしょ うか。ご指示下さい。	貴見のとおり。
188	既 存 改 修	(A-053 図) 渡り廊下 2 詳細図(2)既存断面図 Z2、 アルミ庇撤去の記載有りますが、 撤去W寸法が不明です。御指示下さい。	W6,600。
189	既 存 改 修	(設計書 No249・250) 防水改修工事にたて樋切り回し部の数量 が撤去・改修共ありますが、図面上には記 載がありません。設計書と同数量必要と 考えてよろしいでしょうか。 ご指示下さい。	貴見のとおり。
190	既 存 改 修	(設計書 No252・255) 外壁改修工事に配管架台・配管ラック撤去跡 のはつり及び補修の項目がありますが、 図面上には記載がありません。設計書と 同数量必要と考えるよろしいでしょうか。 ご指示下さい。	貴見のとおり。 A-193 に記載有り。
191	既 存 改 修	(設計書 No266～269) 設計書の渡り廊下 1・3 取合改修の下記項 目の施工範囲が図面では不明です。範囲 を御指示願います。 ①軽量鉄骨天井下地 19 形 ふところ 1.5 m未満 @360	① 本館 1 階 待合ホール 天井 ② 本館 2・3 階 廊下 ③ 本館 1 階 モーターコーナー 既存窓塞ぎ(「4 階廊下 2 外側」は誤記)

NO	質問事項		質問内容	回 答
			②壁面保護材 H=800 ③4階廊下2外側 耐火間仕切壁	
192	既 存 改 修		(設計書 No272) 設計書の北館改修の下記項目の施工範囲が図面では不明です。範囲を御指示願います。 ■ビニル巾木 高さ 60	北館 中央ホール内が施工範囲である。
193	既 存 改 修		(設計書 P 2 5 2) 設計書 本館改修 (外壁改修) に、手摺撤去：ステンレス製 H 8 0 0 集積共手摺：径 3 8 支柱：F B - 5 × 3 0 @ 9 0 0 の記載がありますが、渡り廊下1詳細図(3)には手摺詳細の記載が見受けられません。設計書の仕様を適用するかと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。
194	特 高 変 電 設 備	防 音 パ ネ ルの 施 工 範 囲 について	(A-403 図) 防音パネル：デュラカーム B P - 1 0 0 G の施工範囲が、平面図では四隅部分 (W 2 5 0 0 + W 2 0 0 0) のみ。B - B 断面図では四隅以外の範囲も防音パネル：デュラカーム B P - 1 0 0 G の記載があります。 防音パネル：デュラカーム B P - 1 0 0 G は、新設特高受電室 外周全てに必要と考えるて宜しいですか。	4面すべて防音パネル(デュラカーム B P - 1 0 0 G 同等品)とする。
195	特 高 変 電 設 備	地 中 埋 設 管 の 仕 様 に つ いて	(A-403 図) 排水溝～既存雨水桝まで接続する、地中埋設管の仕様 及び、サイズを御指示下さい。	地中埋設管は積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
196	特 高 変 電 設 備		(A - 4 0 3 図) 特高変電設排水溝、既存雨水桝に接続の記載有りますが、排水管の仕様が不明です。VP管と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
197	特 高 変 電 設 備	カ ル バ ー ト の 仕 上 について	(A-403) 新設カルバートの天端部分の仕上は、コンクリート金鋺押え 素地と考えるて宜しいですか。	貴見のとおり。
198	特 高 変 電	配 線 ピ ッ ト 内 の 仕	特高変電設備のケーブル架台を設置する配線ピット内の仕上が不明です。コンク	貴見のとおり。

NO	質問事項		質問内容	回 答
	設備	上について	リート素地と考えて宜しいですか。	
199	特高 変電 設備	釜場の仕 上につい て	(A-403 図) 配線ピット内の釜場の仕上はコンクリート素地と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
200	特高 変電 設備	新設カル バート内 の仕上につ いて	新設カルバート内の仕上が不明です。コンクリート素地と考えて宜しいですか。	貴見のとおり。
201	特高 変電 設備		(A-403 図) 嵩上げコンクリート内にはワイヤメッシュ 6φ 100×100 が必要と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	ワイヤメッシュは積算上は不要とし、契約後に受注者と協議する。
202	特高 変電 設備		(A-403 図) 特高変電設備床、嵩上コンクリートの図示ですが、溶接金網φ6-100×100 が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
203	特高 変電 設備		(設計書 No285) 鉄筋工事 外部仕上に-異形鉄筋 SD295A D13 1.3 t が計上されていますが、鉄筋のか所をご指示下さい。	設備基礎の鉄筋。
204	特高 変電 設備		(A-403 図) 特高変電設備、排水溝の仕上が不明です。モルタル金罫押えの上塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	貴見のとおり。